

踐たなびく

野にやまに

朽ちせぬ花

つねを

善の報いに

名もなく

世にまつろはぬ

すね人に

ふもはぬ幸の

花さきて

譽れの實のる

ためしあり

よしや生れし

人のよの

譏りありとも

まごころの

よきとあしきは

幾千代に

朽ちせぬはなと

にははまし

海

竹柏會同人

伊藤梅子

わたつみの千ひろの底にかつき入りて

世のなりはひとあはびとるなり

樺山常子

かぎりなき青海原をとぶ鳥の

翅やすむる帆ばしらの上

服部しげ子

久方のあめのぬぼこのしたたりや

大海原のはじめなりけん

佐藤朝恵子

櫻島とほくかすみて真帆かた帆

かぞへもあへぬ浪のうへかな

宮本より江

智の鍵に探るとすれど極みなさ

海のみ神のみ幸をぞ思ふ

大竹伊勢子

のぞみおほき人のこゝろはうなげらの